

# 気になる この用語

第66回

消費生活相談の周辺用語を取り上げ、やさしく解説します。

宇田川 俊秀 Udagawa Toshihide 一般社団法人生命保険協会 理事  
(一社)生命保険協会は、国内で営業する生命保険会社全社が加盟している団体。  
生命保険業の健全な発達及び信頼性の維持を図り、もって国民生活の向上に寄与  
することを目的に活動している

## 市場リスクのある 生命保険

### 特定保険契約

生命保険契約のうち、金利、通貨価格、市場における相場その他の変動による運用実績等によって保険金額等が増減するものは保険業法において「特定保険契約」と規定され、金融商品取引法の行為規制の一部が準用されます。具体的な保険商品では、①変額保険・変額年金保険、②市場価格調整機能(MVA。詳細は後述)を利用した保険・年金保険、③外貨建て保険・年金保険であり、また、「市場価格調整機能を利用した外貨建て変額年金保険」のように、複数の特徴を兼ね備えた商品もあります。

特定保険契約を販売する場合に関しては、申込者(投資者)の知識・経験・財産の状況や契約締結の目的に照らして不適切な勧誘を行わないこと(適合性原則)、商品の特徵やリスク、契約に関わる諸費用など契約条項のうちの重要な事項を記載した「契約締結前交付書面」をあらかじめ交付(電磁的方法による提供も可能)することなどを課しています\*1。

### 契約締結前交付書面

契約締結前交付書面\*2では、契約概要と注意喚起情報の記載が求められています。

#### 〈契約概要として記載すべき情報の例〉

- ・ 保険会社の商号、住所等
- ・ 商品の仕組み、保障内容、保険料に関する事

生命保険の中には、契約時に決められた定額の給付を行う商品のほかに、運用実績等によって保険金額等が増減する商品(特定保険契約)があります。これらの商品では、高い運用成果を受け取れる可能性がある一方、損失が生じるリスクがあります。

項、解約返戻金等の水準等

- ・ 特別勘定に属する資産の種類、保険契約関係費・資産運用関係費等(変額保険・変額年金保険の場合)
- ・ 市場金利に応じて損失が生じるおそれがあること、運用期間中の費用等(市場価格調整機能を利用した保険・年金保険の場合)
- ・ 外国為替相場により損失が生じるおそれがあること、外国通貨により契約を締結することにより特別に生じる手数料等の説明(外貨建て保険・年金保険の場合)

#### 〈注意喚起情報として記載すべき情報の例〉

- ・ 諸費用に関する事項の概要
- ・ 損失が生じるおそれがあること
- ・ 保険会社の商号、住所等
- ・ クーリング・オフ制度
- ・ 解約と解約返戻金の水準

### 変額保険・変額年金保険

変額保険・変額年金保険とは、特別勘定により資産運用を行い、運用実績に応じて、保険金額、年金額及び解約返戻金額が増減する商品です。

変額年金保険の場合は、年金受取開始後も継続して特別勘定で運用される商品もあり、その場合は、年金受取開始後も運用結果次第で、年金額が変動します。

\*1 (一社)生命保険協会「市場リスクを有する生命保険の募集等に関するガイドライン」<https://www.seiho.or.jp/activity/guideline/pdf/marketrisk.pdf>

\*2 (一社)生命保険協会「契約締結前交付書面作成ガイドライン」<https://www.seiho.or.jp/activity/guideline/pdf/before.pdf>

## ●特別勘定

特別勘定とは、運用実績を直接的に保険金や年金、解約返戻金に反映することを目的として運用される勘定であり、「ファンド」とも呼ばれています。

特別勘定を用いる商品は、複数のファンドから契約者が運用先を選択できるものもあります。ファンド数は保険会社・商品ごとに異なり、ファンドを選択できる商品の場合、一般的には、契約後の運用期間中も、所定の回数まで随時、ファンドの変更を無料で行うことができます(ファンドの変更回数に制約のある商品もあります)。

## ●到達目標設定型(ターゲット型)

到達目標設定型(ターゲット型)とは、契約時に一時払保険料に対する目標値を設定し、契約から一定期間経過後(一般的には1~3年後)に目標値に達した時点で、即時、年金や一時金による受取等が可能となる商品です。目標値に到達せずに据置期間が終了した場合や、年金開始前に被保険者が死亡した場合に、年金原資、死亡給付金等の元本(一時払保険料)保証がある商品もありますが、ない商品もあります。

また、一般的には解約返戻金の元本保証はありません。

## 市場価格調整機能(MVA)を利用した保険・年金保険

契約途中で解約したときに、その時点における積立金額に市場価格調整率を反映し、運用資産の価値を解約返戻金額に反映させる仕組みの商品です。個人年金保険や終身保険等にこの仕組みを利用した商品があり、とりわけ、外貨建て一時払い終身保険の多くにはこの機能が付いています。

## ●市場価格調整機能(MVA)

市場価格調整とは、市場金利の変動に応じた運用資産の価値の変動を解約返戻金額に反映させるための手法のことです。Market Value Ad-

justmentの頭文字をとってMVAとも呼ばれています。

保険会社の資産運用の中核をなす債券は、満期まで保有していれば、額面で償還されるのが一般的ですが、保有期間の途中においては、市場金利の動向により価格は日々変動し、市場金利が上(下)がると債券価格が下(上)がるという特徴があります。

市場価格調整が適用された契約では、契約時と比べ解約時の市場金利が上(下)がった場合には解約返戻金が予定よりも減少(増加)します。なお、市場価格調整は、解約時のみならず保険金額の減額時にも適用され、また、個人年金保険であれば、繰り上げて年金を開始した場合などにも適用されます。

## 外貨建て保険・年金保険

外貨建て保険・年金保険は、個人年金保険、終身保険、養老保険、介護保険等の保険種類について、保険料の払い込みや保険金等の受け取りを米ドルなどの外貨建てで行う商品です。

海外の比較的高い金利を反映することで、予定利率を高く設定していますが、為替レートの変動により受け取る円換算後の保険金額が、契約時における円換算後の保険金額を下回ることや、受け取る円換算後の保険金額が払込保険料の総額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

## ●円入金特約・円支払特約

円入金特約・円支払特約を付加することにより、契約者は保険会社に日本円で保険料を支払ったり、日本円で保険金等を受け取ることができます。クーリング・オフに際して、円入金特約を付加している場合には、契約者が払い込んだ保険料は日本円で返還されますが、付加していない場合には、契約者が払い込んだ外貨で返還されるため、為替変動の影響を受けることがあります。